

【内容詳細】

【「1日税務署長」イベント】

- 佐渡税務署では、本年度より中学生の「税についての作文」入賞者による「1日税務署長」イベントを実施。

【1日税務署長となる生徒の皆さん】

- 佐渡市立金井中学校3年生
石塚 由菜さん：作文題名「消費税がある意味」
井戸畑 小春さん：作文題名「様々な国で役立っている税金」

各作文により「佐渡税務署長賞」を受賞

【イベントの主な内容】

- 全佐渡納税貯蓄組合連合会会長渡邊さんほか2名の納税貯蓄組合の方々との名刺交換を予定。
- 佐渡地域振興局（幹部職員）並びに佐渡市役所（市長）への表敬訪問の実施。
- 税務署において模擬決裁などを体験。

【「1日税務署長」イベントの目的】

- 中学生の「税についての作文」の入賞者に対して、「1日税務署長」を実施することにより、事業内容の更なる充実化を図る。
- 「1日税務署長」の体験を通じて、中学生に「税」や「税務行政」に対する関心を深めてもらう。
- マスメディア等を通じて、作文事業及び納税貯蓄組合を、広く国民へPRするとともに、令和元年分確定申告の期間等を広報する。

【中学生の「税についての作文」事業とは】

- 中学生の税に関する理解と関心を高めるために、租税教育の一環として、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁の共催事業として、4団体（※）の後援を受け、昭和42年から毎年実施され、令和元年度で53回目となる。
※ 後援4団体は次のとおり
一般財団法人 日本税務協会／一般財団法人 大蔵財務協会／
日本税理士会連合会／公益財団法人 全国法人会総連合
- 令和元年度は全国の中学校7,464校から578,204編の応募があり、佐渡税務署管内では中学校12校から259編が応募された。